



総長選挙(第一次)

2003.9.1

No.30-6

アンケート

編集・発行：

名大職組中央執行委員会

連絡先：4913(TEL&FAX)

Home Page：http://nuufs.org

e-Mail：nuufs@nuufs.org

名大職組中央執行委員会は、本日(8/29)次期(法人化後)名古屋大学総長の「総長候補被推薦者」と「推薦代表者」に対して、以下のアンケートを送付しました。アンケートの回答は、名大職組を通じてすべての教職員にお知らせします。

総長選挙アンケート

殿

2003年8月29日
名古屋大学職員組合

私たちは、今回の総長選挙にあたり、積極的に全構成員の意思を選挙に反映させる目的で、第一次総長候補者全員に、次のようなアンケートを実施することに致しました。ご多忙中のところ大変恐縮ですが、意向投票の意義をご理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。

回答は電子メール nuufs@nuufs.org または FAX052-789-4913 宛てに9月4日正午までにおねがいします。御回答いただいたアンケート項目は、組合ニュース等を通じて公表させていただきます。

私たちは、法人化後の組織運営や意思決定に際して、名古屋大学でこれまで積み上げられてきた全構成員による「大学の自治」の慣行を踏襲すべきであると考えています。これに関して基本的なお考えを簡潔にお聞かせ下さい。

上記の「大学の自治」を尊重する立場から、私たちは今回の総長選挙の第2次意向投票が教授層に限定された事に対して大いに異議があります。この決定に対して賛成か反対かをお聞かせ下さい。

これまでの本学の総長選挙規定では、同一人物が2期6年を超えて総長を務める事は、学問の府である大学として弊害が大きいとの考えから禁止されています。私たちは、こうした理念は法人化後も尊重すべきであり、たとえ制度の切りかえ期にあたってとしても、禁止されるべきであると考えています。6年を超えて総長を務めることの是非について御意見をお聞かせ下さい。

今回の総長選挙暫定基準の決定の手続きは、疑問の余地のない明確なものであったかなかったか、お考えをお聞かせ下さい。

以上